

奥尻町の魅力ポイント

■面積 142.99km² ■人口 約2,300人 ■指定地域 離島

- 観光業がさかんでウニやアワビなどの海産物が自慢！
- 奥尻町産のぶどうの6次産業化に成功！
- 脱炭素先行地域として「サスティナブル・アイランド奥尻」を目指す
地熱発電が取り組みの目玉でエネルギーの地産地消を目指す
- 離島留学生によるまちづくりがさかん！
地域の特産品のマルシェや物販等を高校生主体で開催
- 平成5年北海道南西沖地震の津波災害から復興

マスコットキャラクター
「うにまる」

奥尻ワイナリーの工場内

観光シンボルの「なべつる岩」と
うにまるモニュメント

奥尻高校の授業風景

奥尻町の課題

■ 政策分野 定住対策・地域交通・観光対策

- 奥尻町の離島留学は好評で定員も充足、今後は卒業後の定住へつなげていく必要
- フェリー、バス、航空路線の赤字縮小、限られた予算内での利便性の向上が課題
- 地域の基幹産業である観光に対し、新型コロナウイルス感染症による来島者の減少や、公共工事の増加に伴う建設業従事者の滞在による島内宿泊施設の不足などが大きな打撃

応援隊の活動報告

これまでの活動

- 令和5年4月に観光協会HPの改善案を提案 → 観光協会にてHPが改善
- 令和5年5月に離島留学生コミュニティ立ち上げ
- 宿泊施設確保のための意見交換や冬季の観光コンテンツ作りに関する助言などを実施
- 現地視察や意見交換を踏まえ、中長期的に取り組むべき課題と対応策を提案

取組の成果

- 離島留学生コミュニティが立ち上げられ、関係人口作りの土台ができた。
- 離島留学生コミュニティと奥尻高校が連携し、コミュニティ関係者を増やすことができた。

今後の展望

- 離島留学生コミュニティにおいて、中核となるメンバーとの意見交換、関係人口づくりに取り組む他自治体での取組やコミュニティオーガナイズに係る手法の紹介などを通じて、活動運営の伴走支援を行う。
- 観光協会の体制確保や温泉水の活用、離島留学生コミュニティの拠点設立のアドバイス等を実施する。
- 離島留学生コミュニティが実施する情報発信、イベントなど様々な地域活性化の取組の伴走支援を行う。